

## 具体化 具体物を提示することで、児童の理解を促進する工夫



スイートピーのさやを使って、実際に種が飛ぶ様子を見て、自動散布について理解する。  
(第2学年 国語「たねのたび」)

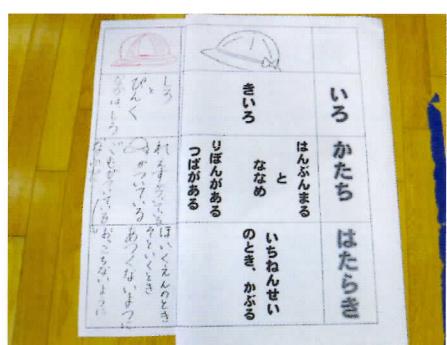


どんぐりや落ち葉を拾い、それらを素材として染め物を体験する中で、身近な自然に親しむ。  
(わかば学級 生活単元学習「身近な自然に親しもう」)

## 見える化 見えないものや見えにくいものを見る形にし、児童の理解を促進する工夫



文章だけでは想像できない収穫や出荷の様子の写真が載ったワークシートを使う。  
(第3学年 社会「働く人とわたしたちのくらし」)

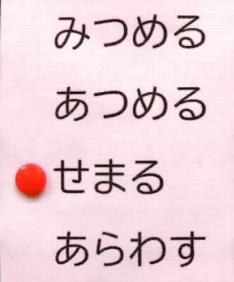


教科書の本文の内容だけでは理解しにくい帽子の特徴を、表を使って比べる。  
(つくし学級 第1学年 国語「ぼうしのはたらき」)

## 「習得」の学習段階



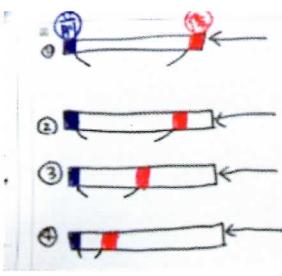
## 「探究」の学習段階



学習段階を提示し、見通しをもって活動する。  
(第6学年 算数「拡大図と縮図」)

写真だけでは伝わりにくい祭りの迫力や臨場感を映像から感じ取る。  
(第5学年 特別の教科道德「伝統文化を守る心」)

## 単純化 複雑なものを簡単にし、児童の理解を促進する工夫



特徴を捉えやすくするために、図に余分な情報をかかない。  
(第4学年 理科「空気と水」)

使用する材料を素材や形状の違いにより分類してコーナーに置く。  
(第1学年 図工「どうぶつむらのピクニック」)

学習する範囲の本文だけを1枚にまとめ、余分な情報をなくす。  
(第2学年 国語「たねのたび」)